



2016.10.01 外国人受け入れに関する地域意見交換会 in 新宿

未来を創る財団主催、新宿区共催、イニシアチブ **Nippon** プロジェクト第5回地域意見交換会が10月1日（土）午後、Biz 新宿「新宿産業会館」で開催された。

地域の団体、事業者、商店会、学校、日本語NPO、町会、在留外国人など、外国人問題に関心の高い方がた20数名が参加した意見交換会で、熱心な討議が行われた。



冒頭、吉住区長は、「定住外国人受け入れに関して早急なる議論の開始」については、第一に国が役割を果たし、政策を決定することが基本となる。まず国にリーダーシップをとってもらい、その後に自治体として施策を考えたいと談話。「定住外国人に対する日本語等の教育の義務化」については、地域での共通

言語は日本語であり、日本語および日本文化の教育義務化に賛同すると述べた。討論では、新宿や日本のことがわかっている留学生の方にぜひ活躍してもらいたいと思うが、起業しようと考えても、起業可能な在留資格がない。一例だが、美容学校を卒業しても日本では美容師として働けない。その他にも在留資格がネックとなっている声が多かった。健康問題では、高田馬場でクリニックを経営する富田医師によれば、外国人を診察したことのある病院の6割に未払い経験がある。また、病院にアクセスできず、重症化してから受診するため、医療費が高額化し、未払いが発生しやすい。言葉の問題もある。医師の側にもストレス。神奈川県は、医療通訳を派遣してから、外国人診察の未収金が10分の1に減った。言語の問題が解決すれば未収金も減るということを示唆している、と。その他、日本で初めて難民の第三国定住のパイロット事業を行う諏訪町会の話も興味深い。



休日の中ご出席くださった新宿区他参加者の皆さまの真摯なご協力に感謝申しあげます。また、新宿区多文化共生推進課各位のご尽力に深謝申しあげます。